

札幌に笑顔飾ろう

5月、ビルや百貨店に写真

札幌市の中心街で5月、街角で撮影した市民らの笑顔を街に飾って、元気を取り戻そうというイベント「メリー・イン・サッポロ・プロジェクト」が、東京の芸術家らの手で計画されている。

この企画は、笑顔の写真を大きく引き伸ばして、テナントビルや百貨店などに張り出し、さらに、とびきりの笑顔をまとめた小冊子を配布する。締めくくりとして、五月三十日の「ごみゼロの日」に、小冊子と一

緒に配布したごみ袋を持って、みんなでごみ拾いをする—という内容だ。

撮影する際に、「あなたにとつてのメリー(幸せ)」を聞き、笑顔の写真と、そのメッセージを添える。ごみ拾いは、街の環境にとつて「メリー」という意味を込める。

東京のアートプロデューサー水谷孝次さん(52)が、阪神大震災に見舞われた神戸市(二〇〇二年)や、米同時テロ一年後のニューヨーク(同)、東京(二〇〇



プロジェクトの狙いなどを説明する水谷さん(左)

三年で行ったイベントに、札幌市四番街商店街振興組合が着目。不景気に加え、台風被害、十勝沖地震と災害に見舞われた北海道を元

「札幌でも行いたい」と働きかけ、水谷さんも「負の遺産のある場所でもやること」が、輝きを増すと快諾した。

写真は張り出しやごみ拾いの予定だ。